

第 24 回日本皮膚外科学会 総会・学術集会

プログラム・抄録集

会 期 : 平成 21 年 6 月 20 日 (土)、20 日 (日)

会 頭 : 臼田俊和 (社会保険中京病院 皮膚科)

会 場 : 名鉄犬山ホテル

〒 484-0082 愛知県犬山市犬山北古券 107-1

Tel : 0568-61-2211

Fax : 0568-62-7500

事務局 : 社会保険中京病院 皮膚科 (担当 : 小寺雅也)

〒 457-8510 愛知県名古屋市南区三条 1-1-10

Tel : 052-691-7151

Fax : 052-692-5220

E-mail : masanari_kodera@chukyo-hosp.jp

ご挨拶

このたび、第24回日本皮膚外科学会を愛知県犬山市で開催させていただくことになり、大変光栄なものと存じます。日本皮膚外科学会は、前身である皮膚外科勉強会の精神を受け継いで、活発で率直な討論を行なえる場として発展してきました。今回も80題近い演題の申込みをいただき、会員の諸先生方に心より感謝申し上げます。

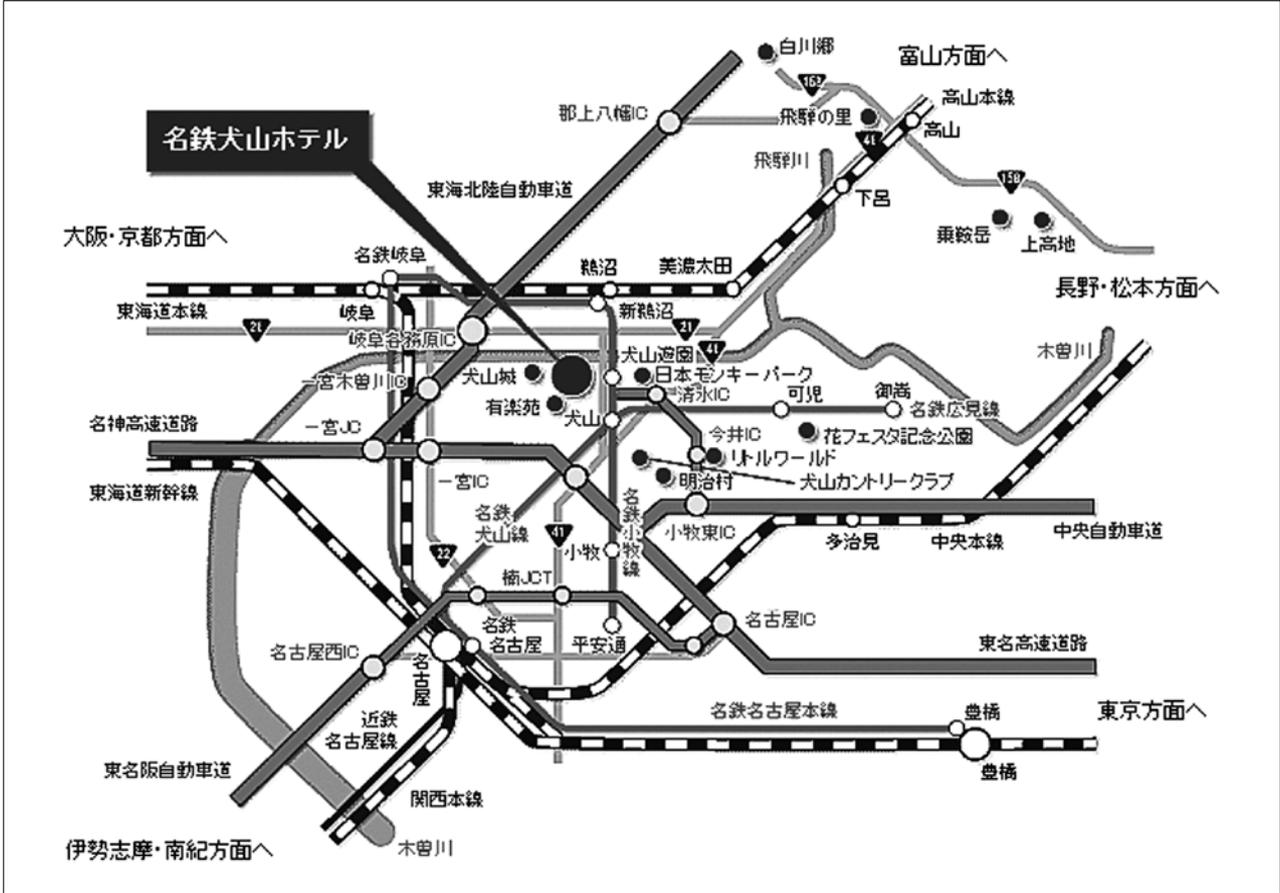
皮膚の腫瘍や血管腫、母斑症に対する外科的治療の歴史は古いものの、皮膚外科として体系的に取り組まれるようになったのは、比較的近年になってからのことです。そこで今回の学会では、本邦の皮膚外科の歴史と成り立ちについてのご講演を、黎明期から活躍されてきた青山久先生（愛知医大名誉教授）にお願い致しました。

今回のテーマ演題としては、「Simple is Best」と「長期経過観察」を取り上げました。私事になり恐縮ですが、私は30余年の間、皮膚科の手術治療（皮膚外科）にたずさわってきました。実地経験の中で学んだことは、「手術後の短期的な予後と長期的な予後とはしばしば大きく異なる」ということと、「作図や手術方法はなるべくシンプルな方が患者さんの負担も少なく経過もよい」ということでした。学会発表というと、何か特別な手術や変わった手術でなければならぬと思ってしまうがちですが、一番大切なことは「皮膚科医が自ら積極的に手術をする」ということにあると考えています。病歴聴取、術前検査、手術計画、手術、病理組織学的検討、術後治療と経過観察を、皮膚科医が一貫して行なっていくことこそが、最も大切であると考えています。さらには、再発の防止と整容的満足度の両者を考慮することも必要であると考えられます。

勉強したあとにはリフレッシュが大切です。ということで、初日の終了後は歴史ある犬山の鵜飼観光で、一日の疲れを癒していただくことにしました。木曾川（日本ライン）で繰り広げられる幽玄の美を、この機会に是非お楽しみ下さい。鵜飼観光のために、学会のスケジュールがややタイトになってしまった面もありますが、皆様のご理解をお願い致します。また、学会場の近くには国宝の犬山城があり、近隣には明治村、リトルワールド、モンキーセンター、名古屋ポストン美術館といった、ちょっと風変わりな行楽地も数多くあります。お時間にゆとりがありましたら、しっかりと学び楽しんで頂ければ幸いです。

平成21年6月吉日
第24回日本皮膚外科学会総会・学術集会
会頭 白田俊和

交通案内



会場へのアクセス

お車ご利用の場合

日・祝日は、犬山周辺の道路が渋滞のため混雑致しますので、余裕をみてお出かけ下さい。
ホテルには無料駐車場があります。

- 東名高速／小牧 I.C. から 25 分 中央道／小牧東 I.C. から 20 分

名鉄電車ご利用の場合

名鉄名古屋駅－（特急 30 分）－犬山遊園駅下車徒歩 8 分です。

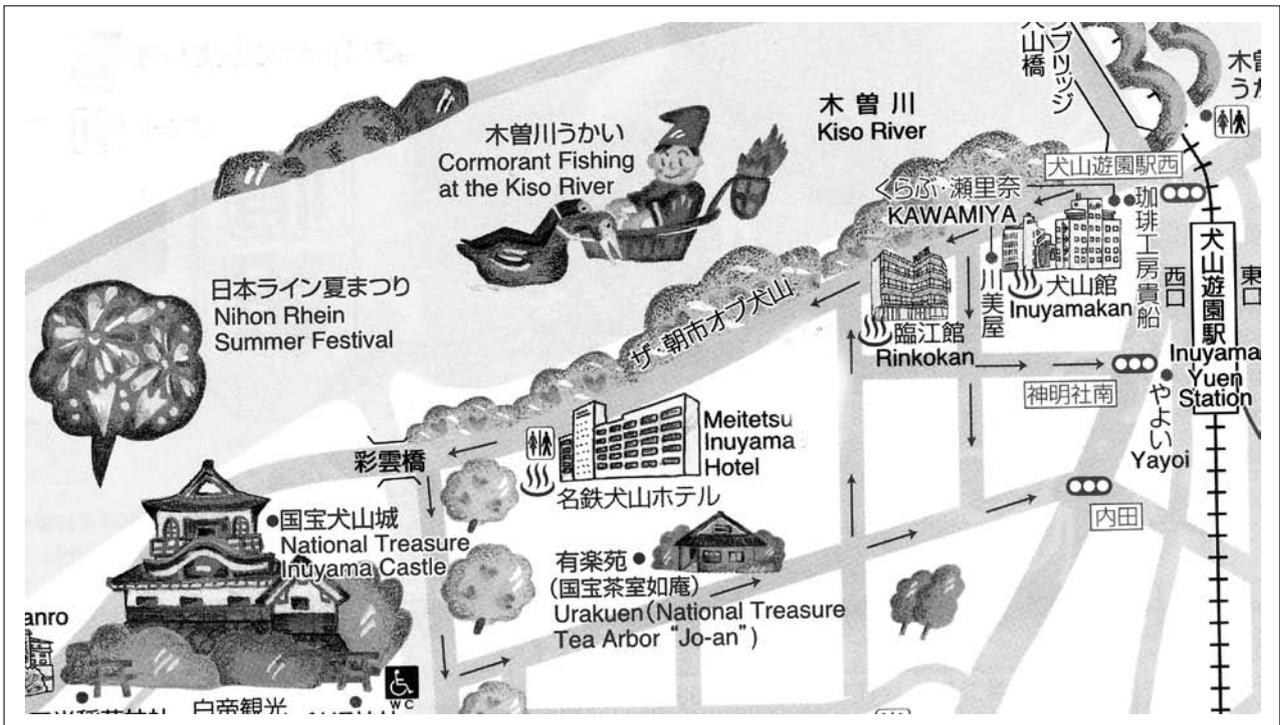
- 犬山線「新鵜沼行」または、「犬山経由・岐阜行（一宮経由・岐阜行きではありません）」に乗車

中部国際空港から

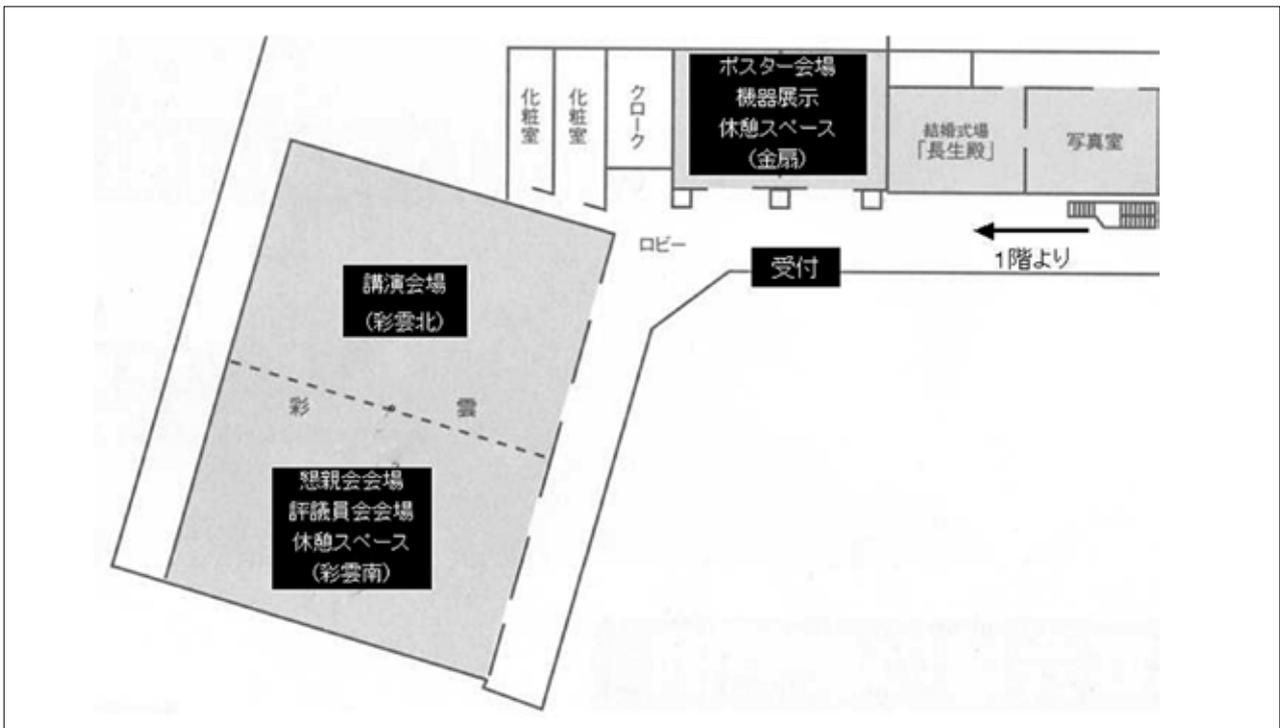
中部国際空港駅－（特急 55 分）－犬山遊園駅下車徒歩 8 分です。

- 犬山線「新鵜沼行」または、「犬山経由・岐阜行」に乗車

会場案内



名鉄犬山ホテル 2階



- ドリンクサービスは、金扇、彩雲南にご用意しております。
- 学会会場内は禁煙です。指定された喫煙所をご利用ください。

参加者の方々へのお知らせとお願い

参加者の方々へ

1. 受付時間：21年6月20日(土)午前8時から午後6時まで、21日(日)は午前8時から午前11時30分まで受付致します。
2. 参加受付：2Fロビーの総合受付でお願いします。参加登録カードを記載の上、受付までお持ちになり、参加費10,000円をお支払いの後にネームプレート(領収書兼用)をお受け取り下さい。ネームプレートには所属・氏名を記入し、学会場ならびに懇親会場では必ずお付けください。なお同伴者も参加費10,000円申し受けます。口演およびポスター発表される先生方は、隣の演者受付へもお越し下さい。
3. プログラム：郵送された方は必ずご持参ください。会場で購入される場合には一部2000円頂戴致します。
4. 受講証：皮膚科専門医資格をお持ちの方には、日本皮膚科学会認定の後実績6単位が認められますので、専門医受付でご記帳後に「後実績受講証」をお受け取りください。

口演発表者の方々へ

1. 学会参加受付後、演者受付へお越し下さい。
2. 口演時間：一般演題、テーマ演題は口演4分、討論4分です。
「あなたならどうする？」は口演・討論合計15分でお願いします。
3. 口演発表は全てPC(パソコン)による発表のみとさせていただきます。35mmスライドは原則として受け付けません。
4. 会場に用意するパソコンはWindows XPで、使用可能なアプリケーションはPowerPoint 2003, 2007です。
5. Macintosh版のPowerPointで作成された方は、あらかじめWindowsパソコンでの動作確認をお願いします。
6. 動画の使用はご遠慮下さい。
7. 発表内容を保存したCDを前もって6月12日(金)までに大会事務局にご送付ください。少人数で当日運営をしますのです、ぜひご協力をお願いします。
8. **CD送付先**：
〒457-8510 名古屋市南区三条1-1-10
社会保険中京病院皮膚科 小寺雅也宛
9. 発表の際は、演台に設置してありますモニター、マウス、キーボードを使用して、演者ご本人により操作して頂きます。
10. ノートパソコンの持ち込みによる発表は受け付けておりません。

ポスター展示の方々へ

1. 学会参加受付後、演者受付へおこし下さい。
2. 「あなたならどうする?」「一目ご覧下さい! (ポスター発表)」「グループスタディー」についてはポスター展示をお願いします。
3. 展示は、ポスター会場の展示パネルをお願いします。展示は、20日午前9時よりお願い致します。撤去は21日午後以降でお願いします。
4. ポスターの展示は画鋏による固定です。画鋏は事務局で用意致します。
5. パネルサイズは横90cm 縦120cmです。左上の演題番号はこちらで用意致しますので、それ以外のスペースはご自由にお使いください。

学会誌用原稿提出のお願い

本学会の発表演題は、原則として全て日本皮膚外科学会誌にその要旨を掲載させて頂きま
す。お手数ですが、学会当日に別紙の要項に従って原稿の提出をお願いします。なお、後
日学会本部事務局で原稿内容を一部変更させていただく場合がありますので、プリント原稿一
部とCD(電子データ)の両方の形での提出をお願いします。強調文字(太字、ボールド体)の
設定は行わないでください。

討論者の方々へ

発表者は座長の指示に従って、討論用マイクを用いて所属・氏名を述べてから発言してくだ
さい。

日本皮膚外科学会への入会申込みについて

日本皮膚外科学会への入会申込み手続きは、本学会場では取り扱いませんのでご了承ください。
入会ご希望の方は学会本部事務局まで直接ご連絡ください。

懇親会および鵜飼乗船

懇親会は20日(土)学術集会終了後、午後5時15分より彩雲南(口演会場の隣)にて行
います。懇親会終了後、午後6時45分より鵜飼観光船に皆様ご乗船していただけます。(ご
希望を学会受付にて伺います。ぜひご乗船ください。)

総会 21日(日)午前10時45分より口演会場にて行います。

ランチオンセミナー

20日(土)午前11時30分～、21日(日)午前11時～、口演会場にて行います。昼食を
お配りします。

日本皮膚外科学会誌投稿用原稿作成の要領

学会発表前のスライド受付時に印刷されたものとデータ(様式は後述)の両方をご提出ください(もちろん発表用スライドも!)。カラー印刷になりますので、すべてのページをカラープリント専用紙(写真が含まれる場合は光沢紙)での提出をお願いいたします。図表を貼り付ける場合は、必ず直接貼付して下さい。図、表もカラー印刷できます。

1. 原稿は原則見開きの2ページ(3ページ以上も可能)とし、奇数ページ(左ページ)に文字を印字し、偶数ページ(右ページ)に写真、図、表になりますが、奇数ページに図表の挿入も可能です。

なお、学会当日での討論を可能な範囲で追加させて頂くことになりますので、参考文献の後、または最終ページに横8×縦4cm程度の空欄を開けてください。

2. 写真は個人を特定できないように眼などにマスクをお願いします。マスクがなく個人の同定が可能と思われる写真に対しては、編集委員が写真に手を加える場合がありますのでご了承下さい。特別講演は4ページ程度で企画は自由とします。なお写真は必ずカラーをお願いします。

いずれの場合も、レイアウトは編集委員が変更する場合がありますのでご了承下さい。

3. 下図のごとく、上下(約3cm)・左右(約2cm)のマージンを設定し、その中におさめて下さい。演題名と演者、演者所属は概ね縦3cmの中に入れ、**演題名はゴシック体で、他は明朝体をお願いします。**特に本文は必ず明朝体で印字して下さい(ゴシック体での本文は再提出していただくことになります)。**強調文字(太字またはボールド体)の設定は行わないで下さい。**

4. **演題名は13ポイント(ゴシック体)、演者所属、演者は10~11ポイント(明朝体)でワープロ印字(すべてにおいて強調文字:太字またはボールド体の設定は絶対に行わない事)し、センタリングして下さい。**字間、行間は適当で結構です。**本文は9ポイント(明朝体)**とし、概ね1行24字、本文42行の2段組で印字して下さい。

段間は約1cmにして下さい。句読点は「、」または「,」と「。」を用いて下さい。

5. 文献は本文に出てきた順に1)、2)、3)、4-7)の形で番号を打ち、記載は以下の通りとします。

①雑誌: 番号、筆頭著者(ほか)、雑誌名、巻: 最初のページ、発行年

(例) 1. 本間 其: 臨皮, 48(5増): 12, 1994

②単行本: 番号、筆頭著者: 書名、版、巻、題名、最初のページ、書店名、発行年

(例) 2. 中川浩一: 皮膚科診断治療体系, 初版, Suppl.1, 亜急性皮膚エリテマトーデス, p74, 講談社, 1990

なお、雑誌名の略称については日皮会誌を参考にして下さい。

6. 別刷の受付は致しませんので、ご了承下さい。

7. 原稿募集は、**原則学術集会2日目までに学会受付の「学会誌受付」**にご提出下さい。

お送りの際は発表の「第〇回学会、プログラム番号〇番、演題名、口演者名、所属、連絡先(ファクシミリ番号)、メールアドレス」を記入した紙を同封して下さい。

学術集会以降の原稿送付先: 〒663-8501

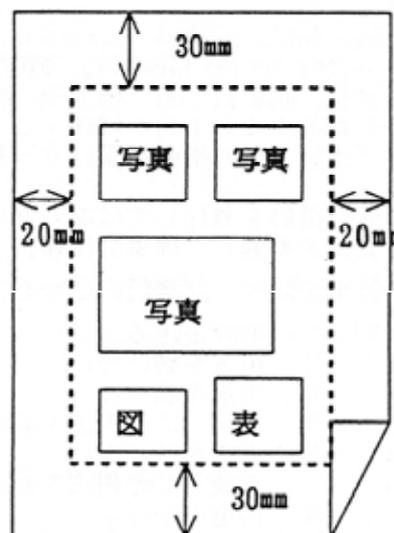
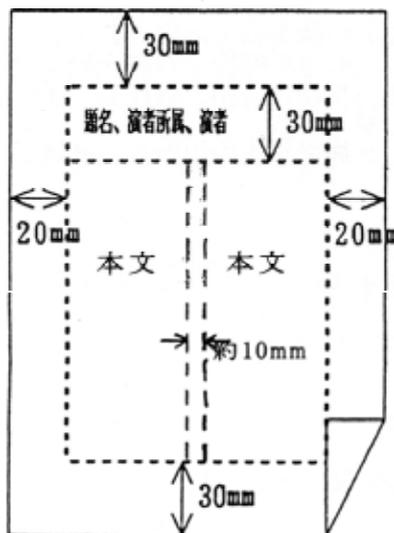
兵庫県西宮市武庫川町1-1

兵庫医科大学皮膚科学教室内

日本皮膚外科学会事務局宛

1 ページめ (左)

2 ページめ (右)



(枠は必要ありません)

A 4 用紙

A 4 用紙

※従来からの原稿様式です。基本的にはこの形で、若干変更して頂いても結構です。上記に従って印刷された原稿と一緒に、CDRまたはMOまたはフロッピーディスクでデータを提出していただきます。

日本皮膚外科学会誌投稿用データ作成の要領

第18回学会より学会当日にプロシーディングの原稿とデータを提出して頂くことになりました。事務局で可能な限り学会当日の討議を入れさせて頂くこととなりますので、原稿の他に、CDRかMOかフロッピーによる原稿データの提出をお願いいたします。

原則として提出していただいた原稿とMOなどは返却いたしません。

データは、投稿印刷用に作成したデータをそのままコピーして下さい。画像データが印刷用のデータに含まれない形式では、画像データを入れ忘れないように注意してください。提出するデータディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。万一印刷原稿とデータ内容が異なる場合はどちらが使われるかわかりませんので、必ず同一のものにして下さい。発表用スライドのために作成したMS/パワーポイントのデータをそのまま提出しないで下さい。印刷用データと発表用スライドのMS/パワーポイントデータの両方をコピーしていただくことは大歓迎です。

WindowsXp(DOS)または Macintoshのソフトで作成する場合

ソフトは、一太郎、MSワード、MSパワーポイントをお使い下さい。アドビイラストレーターはご遠慮願います。また文字原稿のページはMSパワーポイントをお使いにならないで下さい。

写真・図を含むページは絶対にワードは用いず、必ずパワーポイントを使用して下さい。

Windows Xpとオフィス2003までのソフトで作成して下さい(Windows Vista・オフィス2007には対応しません)。新発売やバージョンアップ直後のソフトを使用したデータには対応しきれない場合がありますのでご考慮をお願いします。なるべくWINDOWパソコンで作成していただくことをお願いします。(Macのデータにも対応できますが)

本文がテキストデータの場合

普通にワープロで文章を作成し、テキストデータにして、一続きの文章はなるべく改行しないで下さい。本文の小見出しがあるときは必ず改行して下さい。引用文献の番号などの上付文字を振る時は「これこれ¹⁻³⁾はあれそれ」は「これこれ■1-3) ■はあれそれ」というように2つの■で囲って下さい。本文をテキストデータで提出される場合は、写真や図、表は、プリントまたは印刷してA4の紙に前ページの例に従って、貼り付けて作成して下さい。

なお、ワープロ専用機でデータを作成した場合はDOSのテキスト形式のみで受け付けます。

ファイル名の付け方

Windows (DOS) の標準フォーマット、MacintoshはDOSフォーマットで、下記のファイル名を付けてください。ファイル名の上1桁目(半角アルファベット)

特別講演 . . . T
 一般演題 . . . I (テーマ演題も一般演題も同じ「I」です)
 あなたならどうする . . . A
 ひと目ご覧下さい . . . H
 その他 . . . S

ファイル名の上2・3桁目(半角数字2桁で)

演題番号 . . . 演題番号が一桁の場合は、頭に0を入れてください。

ファイル名の上4桁目以降(半角アルファベットと数字で)

本文 H
 図 F 番号
 表 T 番号

の順に、ファイル名を半角で付けて保存して下さい。
 (例) 一般演題 16番の本文 . . . I16H, 図2 . . . I16F2, 表1 . . . I16T1

個々の画像ファイルは、(ファイル名はFig.1ならF1, Table 1ならT1などというように)本文の内容と関連のある名前にしてください。

文字化けをさけるために本文のフォントはWindowsの場合はMSP明朝かMS明朝、Macintoshの場合はOSAKAのみにしてください。強調文字(太字またはボールド体)の設定はしないで下さい。強調したい部分はゴシック体にして下さい。

外字は使わないでください。癢痒の「癢」、哆開の「哆」などは外字の場合があります。

CDRやMO、フロッピーなどに直接ラベルを貼って下記項目を必ずご記入下さい。

口演者名、演題名
 Windows か Macか、作成したソフト名とバージョン
 保存されているファイル名

必ず印刷した原稿(写真・図・表は貼付でも可)とデータの両方を提出して下さい。
提出するディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。

不明な点がございましたら何なりと学会事務局(兵庫医科大皮膚科)まで、メールまたはファクシミリでお問い合わせください。できればメールでお願いします。電話によるお問い合わせは受け付けていません。

事務局メールアドレス hifugeka@m78.com 事務局ファクシミリ: 0798-45-6651
 事務局学会誌作成についての問い合わせ専用アドレス . . . hgkaishi@m78.com
 学会誌用データ送付用アドレス hifugeka@kiwi.ne.jp

日 程 表

6月20日(土)第1日目		
8:30~8:35	会頭あいさつ	
8:35~9:29	感染症・膿皮症	橋本 裕之(大分市アルメイダ病院)、門野 岳史(東京大)
9:29~10:14	悪性腫瘍(1)	石原 剛(熊本大)、竹之内 辰也(新潟県立がんセンター)
10:14~11:08	外傷・術後処置・周術期管理	小浦場 祥夫(時計台記念病院)、緒方 克己(古賀総合病院)
休 憩(22分間)		
11:30~12:30	ランチョンセミナー(1)	臼田 俊和(社会保険中京病院)
休 憩(10分間)		
12:40~12:50	会頭からテーマ演題について説明	臼田 俊和(社会保険中京病院)
12:50~14:02	テーマ演題「長期経過観察」	廣瀬 寮二(長崎市立市民病院)、村田 洋三(兵庫県立がんセンター)
14:02~14:56	悪性黒色腫	清原 祥夫(静岡県立がんセンター)、師井 洋一(九州大)
休 憩(7分間)		
15:03~16:06	良性疾患(1)治療法	爲政 大幾(関西医大)、松下 茂人(鹿児島大)
16:06~17:00	手術手技・再建法	伊藤 孝明(兵庫医大)、寺師 浩人(神戸大)
17:15~18:45	懇親会(2階彩雲南にて)	
18:45~20:00	鶴飼見学(鶴飼玄関に集合)	
20:30~21:00	理事会(6階リビエール隣)	
20:30~22:00	二次会(6階リビエールにて)	

6月21日(日)第2日目		
7:30~8:20	評議員会(2階彩雲南にて)	
8:30~9:06	テーマ演題「Simple is best」	神谷 秀喜(岐阜大)、中川 浩一(富田林病院)
9:06~10:00	良性疾患(2)美容・QOL向上	是枝 哲(京都大)、田村 敦志(群馬大)
10:00~10:45	あなたならどうする?	立花 隆夫(滋賀医大)、大原 國章(虎の門病院)
10:45~11:00	総会	
11:00~12:00	ランチョンセミナー(2)	八田 尚人(富山県立中央病院)
休 憩(9分間)		
12:09~12:45	悪性腫瘍(2)	中村 泰大(筑波大)、山崎 直也(国立がんセンター)
12:45~13:21	難治性潰瘍・創傷治癒	石井 貴之(金沢大)、田中俊宏(滋賀医大)
13:21~13:26	閉会のあいさつ	次期会頭:橋本 裕之(大分市アルメイダ病院)
14:00~16:00	皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会	